

中学校学習指導要領（H29 年 3 月告示）一部抜粋

章	節	内容	内容の取扱い
第 2 章	第 4 節 理科	<p>(5)生命の連続性</p> <p>(ウ)生物の種類多様性と進化</p> <p>㊦ 生物の種類多様性と進化</p> <p>現存の生物及び化石の比較などを通して、<u>現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであること</u>を体のつくりと関連付けて理解すること。</p> <p>イ 生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長と殖え方、遺伝現象、<u>生物の種類多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現すること</u>。また、探究の過程を振り返ること。（p. 92）</p>	<p>内容の（5）については、次のとおり取り扱うものとする。</p> <p>（ウ）の㊦については、進化の証拠とされる事柄や進化の具体例について扱うこと。その際、生物にはその生息環境での生活に都合のよい特徴がみられることにも触れること。また遺伝子に変化が起きて形質が変化することにも触れること。</p> <p>（p. 95）</p>
		<p>(7)自然と人間</p> <p>(ア)生物と環境</p> <p>㊧ 自然環境の調査と環境保全</p> <p>身近な自然環境について調べ、<u>様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解</u>するとともに、自然環境を保全することの重要性を認識すること。（p. 93）</p>	<p>内容の（7）については、次のとおり取り扱うものとする。</p> <p>イ アの(ア)の㊧については、生物や大気、水などの自然環境を直接調べたり、記録や資料を基に調べたりするなどの活動を行うこと。また、気候変動や<u>外来生物にも触れること</u>。</p> <p>（p. 96）</p>